

| 科目名 | キャリア開発1 | 単位数 | 1単位 | 学期 | 後期 |
|-----------|---|--|---------|----|----|
| 担当教員 | 申 銀珠 | | 実務経験の有無 | | × |
| 科目区分 | カリキュラムマップを表示する | 関連するディプロマポリシー | | | |
| ナンバリング | X-01-A-1-150001 | 経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること | | | |
| 授業の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の人生という自覚を持ち、能力を獲得・発揮しながら自分らしく生きる方法を学び、実践に繋げる。 ・さまざまな可能性や事例を参考に、自己の将来像を描く。 ・自己の理解を深めて将来の自分を見据え、学生生活の計画を立て、実行する。 | | | | |
| 学修到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア」は自分自身の過去から現在、未来へと続いていく一連の流れの中で、自分自身の選択によって形成されていくという自覚・認識を持つことができる。 ・自分自身に対する理解だけでなく、身を置く社会についての理解を深めることで、「自分らしさ」を生かし、「強み」を発揮しやすくなることが理解できる。 ・「キャリア開発」のために有意義な学生生活の過ごし方を自ら考え、行動を起こすことができる。 | | | | |
| 実務経験との関連性 | | | | | |

| 授業計画 | |
|------|---|
| 第1回 | キャリアデザインの意味（斎藤幸江） 自らのキャリア（人生）に向き合う意味、学生生活と将来の結びつきを理解し、充実した学生生活に繋げる。 |
| 第2回 | 充実した学生生活に向けて 1（斎藤幸江） 学生生活を充実させるための具体的な姿勢、考え方を習得し、自らの計画に活かす。 |
| 第3回 | モチベーションアップ講座（リクルートキャリア） あるテーマに沿ってグループワークを通して自分の持ち味を認識する。また、学生生活の中で自身が取り組んでいる様々なことをスコア化し、前向きに今後も取り組んでいくことを構築する。 |

| | |
|------|--|
| 第4回 | 充実した学生生活に向けて 2 +自己理解を図る 1 (斎藤幸江) さまざまな自己分析の手法を用いて、自分自身を理解する。 |
| 第5回 | 自己理解を図る 2 (斎藤幸江) さらに自己を理解する方法や視点を学び、現在そして将来にどのように役立てられるかを考え、実践につなげる。 |
| 第6回 | 世の中の仕事を知る (広報しえん) 働くとは?県内にどんな企業があるか。どんな仕事があるか。それを知るにはどのような方法があるか。/個人ワークを中心に周囲との相談を含め様々な仕事(職種)・業種がある事を認識させる。 |
| 第7回 | 大学から社会へ (斎藤幸江) 大学生(特に新潟国際情報大生)が、どのように進路を選択し、そこで何を活かしているかについて理解し、自らの選択に活かす。 |
| 第8回 | 将来に活かす私 (斎藤幸江) これまでに学んだことを整理し、どんな進路を望むのかをまとめる。合わせて自分の経験の整理や振り返り方を学び、将来に活かす自分の特徴を把握する。 |
| 第9回 | 私の学生生活と将来 (斎藤幸江) それまでの授業を振り返りながら、どんな学生生活を送り、どんな将来に結びつけたいかを考え、計画に繋げる。 |
| 第10回 | 答えのない問いについて考える課題解決プロジェクト (マイナビ) 答えのない問いを考えることを通じて企業活動を疑似体験する。チーム活動を通じて社会に出てから必要とされる力について学ぶ。 |
| 第11回 | 就職活動の基本 (斎藤幸江) インターンシップや志望先と自己のすり合わせ、採用選考の基本について理解し、準備につなげる。 |
| 第12回 | 就職適性検査 (ディスコ) |
| 第13回 | 今からできる進路選択への準備 (斎藤幸江) 今後の人材ニーズや学生生活の将来への活かし方、企業等についての情報収集、強みの伸ばし方などについて理解し、進路へのリンクを意識した学生生活を考える。 |

| | |
|------|---|
| 第14回 | 採用担当者から学ぶインターンシップや就職活動の心得！！（にいがた人事キャリア協議会/キャリア支援委員会） 企業人との交流を通してこれから直面する進路にたいして、どのような考えで行動することが良いかを学ぶ。 |
| 第15回 | まとめ（斎藤幸江） これまでの復習と補足。 |
| 第16回 | （なし） |

| 授業時間外の学習 | |
|-----------|------------------|
| 【予習】時間・内容 | 配布資料の予習、1時間。 |
| 【復習】時間・内容 | 資料の不明点を理解する、1時間。 |

| 成績評価 | |
|-----------|---|
| 評価基準・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の出席及び、授業後に提出するペーパーの内容が評価対象となる。（出席50点 提出物50点） ・毎回のペーパーに関しては、記入がある、授業を履修したことがわかる、（一般論ではなく）自分の課題としてとらえている、主体的な理解・応用につなげているの4つの視点で評価。 |
| フィードバック方法 | 毎回の課題に対して、次回の授業で補足説明を行う。 |

| アクティブラーニング | |
|------------|---|
| 実施の有無 | ○ |
| 実施内容 | ディスカッション、ディベート/グループワーク |
| 教科書/参考書 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア開発1、2の共通テキストとして、「キャリアデザインの教科書」（北浦正行編著 労働調査会）を用いる。 ・動画視聴や新聞記事の紹介を随時行う。 |
| 受講上の留意点等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ライブアンケートを実施することがあるので、ネットアクセス可能なパソコンやスマートフォンを各自用意する。 |
| JABEE | |